



## 2022年度 入学始業礼挙式式次第

2022年4月10日(日)午後3時

司式 岡野 透 校長  
司会 今多 学 教頭

○聖歌 327番 (入堂)

○聖語

司式者 主はその聖なる宮にいます

一 同 全地はそのみ前に沈黙せよ

司式者 あなたの若い日にあなたのかおり主をおぼえよ

一 同 主は牧者であつてわたしは乏しいことがない

司式者 荣光は父と子と聖霊に

一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○詩篇 34編

司式者 わたしは常に主をたたえ// 絶えず賛美を口にする

一 同 わたしの心は主をたたえ// 貧しい人もそれを聞いて喜ぶ

司式者 心を合わせて主をあがめ// ともにみ名をたたえよう

一 同 わたしが主を求めるとき、神はこたえられ// すべての恐れから助けてくださった

司式者 神を仰げば人の顔は輝き// 恥を受けることはない

一 同 苦しむ者が主に叫ぶとき、神は聞き// 悩みの中から救い出してくださった

司式者 神を畏れる人の周りには、主のみ使いは陣を敷き// 彼らを助け出してくださる

榮光は父と子と聖霊に

一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○主の祈り 天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

國と力と榮光は、永遠にあなたのものです アーメン

○聖書 コロサイの信徒への手紙 3章 12~17節 (H3-1 大森 春奈)

あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合はなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあづからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝してなさい。キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と靈的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

- 校歌齊唱
- 新入生歡迎
- 新任教員紹介
- 式　　辭

立教學院常任理事 立教英國學院理事長 杉山 順一

○ 立教英國學院特祷

真理と愛の源であり、すべての人の造り主、万民の父である全能の神よ。わたしたちが常に正しい理想(ねがい)を失うことなく、知恵と一致を得るのは、ただあなたの恵みにほかありません。どうか、み名によって建てられた立教英國学院を見守り、その全ての行いを祝福し、導きのみ手を差しのべ、ますます学院の徳を確かなものとし、常に変わることのない、主の栄光を輝かすことができますように。また、教える者と学ぶ者とを祝福し、共に知識を深め、主の真理と愛とを悟らせ、常に謙遜の心を抱いて、唯一の父である主を仰ぎ、互いにいたわり、互いに励まし合うことが出来ますように。み子、わたしたちの救い主イエス・キリストによってお願ひいたします。

【今週の誕生日】

- 祈祷・祝祷
- 聖　歌　　282番(退堂)

4月10日	M3	瀬田 十和子
4月13日		奥野 卓也
4月13日	H3-2	天野 陽
4月13日	H2-2	梅田 梨世
4月14日	H3-2	萩田 小晴
4月15日		武藤 健翔
4月15日	H2-2	向山 久美子

Come, let us join our cheerful songs  
Isaac Watts (1674-1748)

- 1 ち ょ ろ づ の 使 い み 座 の 前 に  
声 う ち 合 は せ て イエス を 歌 え ば  
わ れ ら も ひ と し く 喜 び た た ん
- 2 死 に し 小 羊 の い さ お を は む る  
み 使 い に 応 え わ れ ら も 歌 う  
わ が 主 は わ れ ら の た ま に 死 ね り と
- 3 贈 れ と 荣 え は た だ イエス に あ れ  
知 恵 と 力 と を い か に か た た ん  
ひ た す ら み 前 に ひ 伏 し お が め
- 4 人 も み 使 い も よ ろ づ の も も も  
み 座 に ま し ま す 天 つ み 神 と  
小 羊 イエス と を 永 遠 に た た え よ

NEANDER 87 87 87 Melody set to *Unser Herrscher in Alpha und Omega*  
Joachim Neander 1650-1680

The image displays three staves of musical notation, likely for a two-voice setting such as a duet or a solo instrument with piano accompaniment. The top two staves are in treble clef, and the bottom staff is in bass clef. The notation consists of quarter notes, eighth notes, sixteenth notes, and rests, with various dynamics like forte and piano markings. The music is divided into measures by vertical bar lines.

COME, ye faithful, raise the anthem,  
    cleave the skies with shouts of praise;  
sing to him who found the ransom,  
    Ancient of eternal Days,  
God of God, the Word incarnate,  
    whom the heaven of heaven obeys.

# 立教英國學院 校歌

- 2 Ere he raised the lofty mountains,  
    formed the seas, or built the sky,  
love eternal, free, and boundless,  
    moved the Lord of life to die,  
fore-ordained the Prince of princes  
    for the throne of Calvary.
  - 3 There, for us and our redemption,  
    see him all his life-blood pour!  
There he wins our full salvation,  
    dies that we may die no more;  
then, arising, lives for ever,  
    reigning where he was before.
  - 4 Laud and honour to the Father,  
    laud and honour to the Son,  
laud and honour to the Spirit,  
    ever Three and ever One,  
consubstantial, co-eternal,  
    while unending ages run.

校 歌 作詞 縣 廉

しののめ 東雲さむる丘の上 春の光のみつるとき  
 おかうえ はるひかり

1. 信もて集う若人が 呼ぶや希望と愛のうた  
 しんむつどわいこうじよ

2. マロニエ並木落葉して 稍に高き北斗星  
 まろにえなぎりおちばして たかくとせい

真理の門を叩けやど ささやく如くまたきぬ  
 しりゆうのもんをうけばくよし

3. ここ南英の学び舎に 愛の訓えの帶をしめ  
 なんえいのまなや あいのおしめ

もろ国人を友として 行くべき道を究めなん  
 もろこじんをともとして くふべきみちをくめなん

4. 世界の平和成らんとき 栄光どわにあれかしと  
 せかいのへいわせいらんとき えいこう

ともにたたえんわが母校 立教英國学院を  
 ともにたたえんわがぼくこうりつ りきょうぐこくがくいん

1. 詩篇57及び108 2. Pallinghurst Hill というこの地名 3.信仰と希望と愛と(クリント前十三章) 4. 門を叩けば開かれん(マタイ傳七章) 5. 第三節は国際人を目指すために。6. 愛は徳を全うする帶(コロサイ書三章) 7. 地には平和(ルカ傳二章) 幸なるかな平和ならしむる者(マタイ傳五章)  
 以上の精神をこめて説話は作られた。

The following is a translation of the School Song of Rikkyo School in England, each verse rendered in the same 7-5-7-5 syllable pattern as the original Japanese.

1. Atop our hill, dawn's breaking:  
Let us greet the sun  
All the world now seems bathed in  
The fresh Light of Spring.
  2. The chestnut trees in a row,  
Autumn's falling leaves—  
High above the treetops there  
The North Star shines bright.
  3. Here in Southern England stands,  
'Midst the hills, our school.  
Day by day 'tis girding us  
With precepts of love;
  4. Then when peace does truly come  
To our world at last,  
Glory be in the highest  
To God iorever./

Voices young are raised in song,  
In truth hearts are one—  
Ever seeking faith and hope,  
And love, above all.

Is it whisp'ring to us now,  
Twinkling all the while?  
"Knock ye at the Gate of Truth:  
Opened it shall be!"

And binding us in friendship  
With men of all lands—  
To search and find together  
The way we should go.

Then too we'll sing praises to  
Our Alma Mater.  
To Rikkyo School in England  
Our hearts will be true.

By Gene S. Lehman  
Rikkyo University

1 つみに く るし む さけ び を きい た  
やみの せ かいを てら し か が やく  
わたし は た みを すくおう  
かみの ひ か りを

2 つたえ よ 一 あなたに  
よば れて 一 わたしは

3 あゆみま す 一 わたしを 一 この

HERE I AM, LORD  
Daniel L. Schutte  
arr. John Ryuta Suzuki (1959-)

Here I am, Lord  
Daniel L. Schutte

世に 一 つかわして ください

1 罪に苦しむ 叫びを聞いた  
わたしは民を救おう  
闇の世界を 照らし輝く  
神の光を伝えよ

(おりかえし)  
あなたに呼ばれて わたしは歩みます  
わたしをこの世に 遣わしてください

2 民の痛みに 泣を流し  
わたしは語り続ける  
石の心を 愛でうるおす  
神の言葉を伝えよ

(おりかえし)

3 貧しい人を わたしは見つめ  
祝いの席に招こう  
すべてを満たす 尊いパンで  
神の命を与えよ

(おりかえし)

出3:7-10 イザ6:8 エゼ36:26 イザ11:2-3 イザ25:6

Copyright © 1959 by Daniel L. Schutte. All rights reserved.  
Copyright © 1960 by Daniel L. Schutte. Used by permission of Daniel L. Schutte.